

和歌山県中部地域の海岸におけるジンガサウニ(ナガウニ科)の記録

田名瀬 英朋*・土生 紳吾**・久保田 信***

Hidetomo TANASE, Shingo HABU and Shin KUBOTA : Occurrence of *Colobocentrotus mertensii* (Echinometridae) at coasts of middle regions in Wakayama Prefecture, Japan

ジンガサウニ *Colobocentrotus mertensii* BRANDT は、和名が示すように、陣笠状をした独特の外形を示す南方系のウニの一種で、九州の大隈諸島から台湾にかけての潮間帯および伊豆諸島から小笠原諸島などの沖合いの島嶼の波浪の強い海岸に生息し、殻の長径が 5 cm に達する(重井, 1995, 1997)。本種の和歌山県中部地域の海岸における記録はたいへん稀で、旧周参見町(町名変更により現在はすさみ町)で、1931 年 8 月に初めて記録されて以来、1935 年までにもう 1 個体がすさみ町より採取され(坂口, 1935)、その後さらにすさみ町沿岸の水深 8 m の岩礁から 1972 年 11 月 10 日にエビ網で採取された殻長 7.5 cm の 1 個体(荒賀, 1972)や旧日置川町(現在は白浜町)の海岸で 1974 年 5 月 10 日に採取された殻の長径が 5 cm の 1 個体の記録(玉井, 1974)があるにすぎない。以上のように、和歌山県中部海域でこれまで報告された本種の 4 個体に加えて、1975 年以降に発見された 2 例の生息記録を、今回報告する。このうち、白浜町椿地区における最新の本記録は、本州の海岸での分布の北限記録

となる。

和歌山県西牟婁郡すさみ町の記録

1975 年 3 月 31 日の干潮時、田名瀬により口和深地区の外洋に面した岩礁海岸において 2 個体の生息が確認され、1 個体(殻の長径 3.8 cm, 図 1)を採取した。本個体は京都大学白浜水族館において展示飼育したが、同年 5 月 18 日に死亡したので、液浸標本として保存した。

和歌山県西牟婁郡白浜町の記録

2007 年 4 月 18 日の干潮時、土生により椿地区の岩礁の潮間帯下部の岩の割れ目より、殻の長径が 2 cm の小型の 1 個体が(図 2)が他のウニ類に混じって発見された。これは、今までの記録中、最小個体と思われる。また分

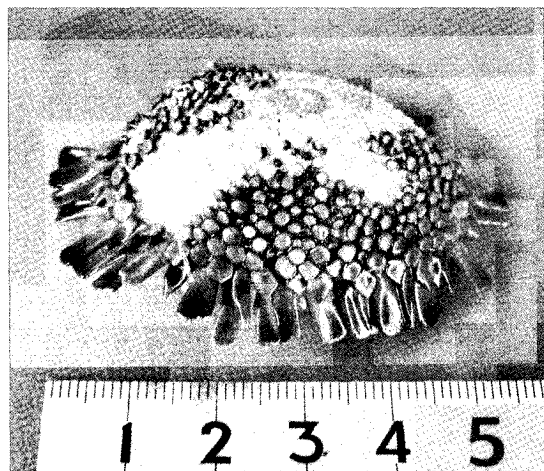


図 1 和歌山県すさみ町で 1975 年に採取されたジンガサウニ(側面)

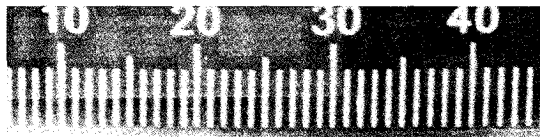


図 2 和歌山県白浜町で 2007 年に採取されたジンガサウニ(腹面)

* 〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町 676

** 〒371-0203 群馬県前橋市粕川町月田 310-3

*** 〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町 459 京都大学フィールド科学教育研究センター 瀬戸臨海実験所

布の北限記録となる。

謝 辞

すさみ町における本種の生息海岸をご教示いただいた同町在住の関本菊生、桂 実雄の両氏に感謝いたします。

引 用 文 献

荒賀忠一．1972：ジンガサウニの採集記録．南紀生物，**14** (2)，59．

坂口総一郎．1935：和歌山県産海胆目録．紀州動植物，**2** (2)，13-16，図版1．

重井陸夫．1995：ナガウニ科．in 西村三郎編著．原色検索日本海岸動物図鑑 II，546-547．保育社，大阪．

———．1997：ウニ類．in 今福道夫・奥谷喬司・武田正倫編．日本動物大百科，**7**，無脊椎動物，174-178．平凡社，東京．

玉井済夫．1974：日置川町伊古木海岸で採集されたジンガサウニ．南紀生物，**16** (1)，22．